

あなたの「宝本」を教えてください

人と人との絆を深め、感動を味わい、自分を見つめることができる「大切な一冊」を、県立図書館では「宝本」と呼んでいます。皆さんの「宝本」エピソードを紹介します。

わが家の宝本



『だいじょうぶだいじょうぶ』 いうひろし 作・絵 / 講談社

おかあさんがたいせつにしていた本をもらいました。ものがたりに出てくるおじいちゃんがわたしのひいおじいちゃんにしていると聞きました。私はひいおじいちゃんにあったことはないけど、ひいおじいちゃんを思いうかべながら本を読んでいます。これからもたいせつにしていきたいです。

【家族から】おばあちゃんもおかあさんも大切な本です。大切に読んでくれてありがとう。

繰り返して読み聞かせている本、親子で感じたことを語り合える本、家族と一緒に読んで楽しいひとときを過ごせる本…宝本は、親子の絆を深めてくれます。

わたしの宝本



『学研の図鑑LIVE 動物』 今泉忠明 監修 / 学研プラス

これはおにいちゃんのほんです。おにいちゃんがたいせつにしていたけど、かぞくでどうぶつえんにいくときに、おにいちゃんが、「これあげるよ。たいせつにつかってね。」とってくれました。ぼくはとてもうれしかったです。どうぶつえんにいくときは、かならずもって行ってどうぶつのことをしらべています。

びっくりするような新しい知識に出会える本、主人公になりきって夢中で読める本、心がゆさぶられる本…宝本は、感動を与えてくれます。

私の宝本



『ずーっとずっとだいすきだよ』

ハンス・ウィルヘルム えとぶん / 久山 太市 やく / 評論社

犬のエルフとぼくが一緒に成長していくお話です。でもエルフのほうが多く成長していきエルフの死に直面します。私にも16年間飼っていた愛犬のバウアがいます。私もこの「ぼく」と一緒に私が赤ちゃんのころからうれしい時も悲しい時も同じ時間を過ごしてきました。バウアとのお別れを経験した今、大切にしたい私の宝本です。

自分の生き方を見つめることができる本、ものの見方・感じ方、考え方を深め豊かにすることができる本…宝本は、自分自身を見つめさせてくれます。

県立図書館では、あなたの「宝本」エピソードを

募集しています！